

第2510地区 第11グループ



2007~2008

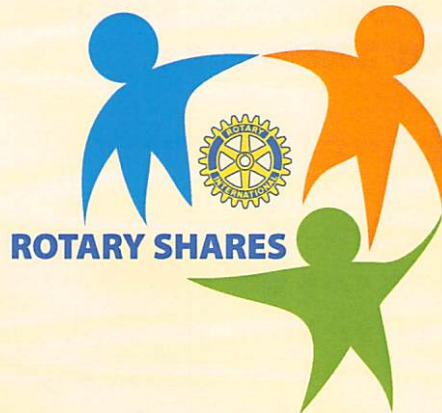
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2007~08年度  
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは  
分かちあいの心



2007~08年度  
国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

*Wilf. Wilkinson*

石橋輝夫 会長 テーマ

—— ゆっくりと、ほどほどに ——



11月28日卓話 日光 貴行 氏

《第2131回例会》第 21 号 12月5日(水)

## 本日のプログラム

「年次総会」

「新入会員卓話」 (株)小川建設 代表取締役 小川 芳美 会員

★会長 石橋輝夫

★幹事 渡部二康

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

# 北海道新聞 佐々木販売所

〒040-0072 函館市亀田町20番15号  
TEL (0138) 42-5442

(広告掲載：佐々木公和 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

## ◎11月14日出席報告 (増山 正 委員長)

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	20名	当日欠席	10名
他クラブ出席	3名	出席合計	23名
出席率	76.67%		

・テレフォンサービス (例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・12月12日

プログラム

### 卓話「基礎的交通安全知識」

函館市交通安全課 課長 高田 洋氏  
函館市交通安全課 女性指導員 澤田 裕美氏  
〃 後藤 美紀氏

2007～2008〈第2130回例会〉第20号

11月28日の記録

◎司 会 石橋 輝夫 会長

◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ゲ ス ト 函館青年会議所理事長 日光 貴行 氏、函館青年会議所専務理事 澤田 龍 氏  
函館青年会議所事務局員 高田亜希子 さん

◎ビジター 函館R.C.中山浩一君

◎会長報告 石橋 輝夫 会長

○特にありません

◎幹事報告 渡部 二康 幹事

○ロータリーレートが12月より1ドル112円に変更になります。

○千葉港R.C.より会報が届きましたので回覧いたします。

○12月19日クリスマス家族会を開催いたします。時間・会費等は案内状のとおりです。

ゲームの景品を会員一人ひとりずつ事務局までお願いいたします。

○12月26日は通常例会になっています。

○本日、例会終了後臨時の理事会を開きます。理事の方お残りください。

◎親睦活動委員会 成田 豊 副委員長

ニコニコBOX投入報告

石橋会長・渡部幹事・森 会員・弗田会員・小川会員・南木会員……先週の大黒屋さんの料理大変おいしかったです。千葉さんありがとうございました。

増田会員・増山会員・阿部会員……函館青年会議所・日光理事長を歓迎して。

小笠原会員……健康診断ありがとうございました。

高橋会員……前回欠席致しましたので・・・

薮下会員……皆さん健康に気を付けてください。

斎藤会員……本日、健康診断よろしく。

中野会員……健康診断終わりました。

◎卓話 「第10回 クリスマスファンタジーについて・・・」 函館青年会議所 理事長 日光 貴行 氏  
本年度10回目のイベント目玉行事は、一つ目がただいまご紹介いたしましたスープです。

次にステンレスというグループにテーマソングを歌ってもらいます。

クリスマスファンタジーのいきさつはご存知の方もございましょうが、1997年に翌年の函館青年会議所理事長予定者の星野勉さんが、姉妹都市との友好、市民・行政・企業一体型の事業、冬季観光の推進の三つの柱を目的として全国に誇れる冬季のイベントを創りたいとの思いで立ち上げました。きっかけは映画ホームアローン2を観ていた星野さんの娘さんが「大きなクリスマスツリーを見たいな」と言って函館の子供に生の大きなツリーを見せたいと思い皆に呼びかけたのが始まりだそうです。青年会議所で「よし、やろう」とまとまりましたが、最初は企業・団体に協力を呼びかけても

相手にされませんでした。

しかし理想を信じてひとつずつ問題点をクリアしていきながら、なんとか開催に漕ぎ着けました。当時日本国内で何本かの大きなツリーがありました、なにかが足りませんでした。

実は雪の降る場所ではなかったのが足りなさでした。

それで、雪が降り異国情緒にあふれる街並みの函館にクリスマスツリーを建てたいとの思いがふくらんだそうです。

最初の問題は木を探すことでした。モミの木へのこだわりでした。道南に多くあるトドマツが見た目では素人だとわからないほど似ているのですが、姉妹提携をしているハリファックス市のモミの木への執着・信念でした。

輸送問題も大変な苦勞でした。お金もなければあてもないということで悩んでいたときに転機がおとずれました。



第一回星型城郭サミットが函館で開催され、ハリファックス市の市長も参加のため来函して直談判の機会を得ました。計画には賛同するが「是非ハリファックス市議会へ改めて陳情してください。」と言われて先輩達が議会にお邪魔して、議会でアピールスタンディングオベーションによる満場一致でご了承いただいたと伝い聞いています。

ツリーはノバスコシア州にある植樹林のツリーファームより選別し輸出していただきます。

次はツリーを建てる場所の選定でした。最初は異国情緒あふれる街並みである元町の配水場を候補地にしましたが、交通便の悪さ等で断念し、次に金森倉庫前の路上を計画しましたが、警察との打合せで長期の車両通行止めは難しいとの問題で却下され、いきずまったときに現在の海上設置のプランが生まれました。

輸送は、カナダ国内はハリファックス市の好意によって無料です。

その後船便で三週間、18,000キロの距離をこえ苦小牧経由で到着します。船の輸送費で90万です。陸送費用、電球5万個、高さ18メートルの飾りつけ等にも多額の費用がかかります。函館市より1,800万の補助がございますが、皆様の協賛金・グッズ販売収益が必要です。よろしく願いいたします。

最後になりますが、当初夢物語とされたイベントも努力することで実現できる良い見本として引き継いでいきたく行政ならびに皆様の企業・一市民としての支援・協力が不可欠かと思っております。

末永いご支援・ご協力をお願いいたします。



(会報担当者：弗田 和則 委員)